

樽本寛さん (tarutarufarm)



白菜・春菊・小松菜・
スナップエンドウ・にんにくなど
少量多品種を栽培

【農家になった理由】

愛知県で棚田の管理をし、有機無農薬の米作りに関わっていた際、化学物質過敏症の方と知り合われたそう。その出会いをきっかけに、誰もが安心して喜んでもらえるような米作り、野菜作りに従事したいと思い、農家を志したそうです。

【メイン作物・それを選んだ理由】

樽本さんは品種を限定して大量に出荷するよりも、ご自身の手で直接お客さんに作物を配達し直接お客さんの笑顔を見たいという思いから少量多品種での栽培を選択されています。また宮川では亀岡オーガニックアクションの有機米を作る準備中だそうです。



【メイン作物の特徴やこだわり】

過剰な肥料の使用を行っていないため、本来の作物の成長スピードに則したえぐみが少なく食べやすい作物を栽培されています。そのえぐみの少なさから、元々苦手だった野菜も樽本さんによって作られた野菜であれば食べられるという方もいらっしゃるのだとか。これらはすべて過剰な肥料の使用を行わないことによって実現させたことであり、栽培に時間を要することもあります。大きき重視ではなくても中には大きなものができることもあるそうです。

【農業をする中でのやりがい・苦労】

やりがいはやはり美味しかったと言われることが一番。冬の寒い時期は、 -10°C 以下になることもある亀岡市。その寒さから身を守るため、野菜は糖度を増すそうです。その甘味の強い野菜を生で食べてほしいと、樽本さん。苦労は農業のやることの多さや体力的な問題、また何をすべきで何をすべきでないかなど自分ひとりで決めなければならないことが多いということなどが挙げられました。

【亀岡市で農業をすることの魅力】

京都市や大阪などの都会に近いということに加え土地も広いため、農家にとって非常に恵まれた土地であるといえるそうです。また樽本さんご自身に登山ガイドの経験があるなど自然に関心をお持ちであるため、豊かで綺麗な自然に囲まれた亀岡市はその環境自体が面白く感じられるのだそう。

【取材を終えて私たち学生の感想】

樽本さんの畑には非常に多くの品種の作物がたくさん育てられており、こんなに多くの作物をおひとりの農家さんで栽培されているのだということにまず驚きました。また樽本さんご自身自然がお好きということで、自然に囲まれた開けた土地にある畑で農業をされている樽本さんがすごくいきいきとされているように感じました。この度は取材にご協力いただきありがとうございました！